

笑顔J☺T☺通信

2017年
秋・冬号

Dr紹介 - 常勤医師より -



循環器科 川田 浩之

診療日 月(午前)・水(午前)・木(午後)・金(午前)



松山城東病院循環器科の川田です。出身は愛媛県川之江市(現四国中央市)です。愛媛県立川之江高校を卒業し、愛媛大学医学部へ。平成2年に卒業し、愛媛大学第2内科に入局しました。当院への赴任は平成12年4月で、以後17年当院に勤務しています。当院は古くから救急病院として市民に認知されていました。私の赴任は循環器救急への対応が目的で、心臓カテーテル検査、冠動脈インターベンションを開始しました。当時、中小病院で急性心筋梗塞の救急治療に対応できる病院は、ほとんどありませんでした。急性心筋梗塞の治療は、時間との勝負で、急性心筋梗塞の患者さんが搬送されると、昼夜を問わず治療に当たり、数年間は非常に多忙な時期を過ごしました。



“For the patient” この言葉は、日本の冠動脈治療の第一人者である延吉正清先生の言葉です。常にその患者さんのことを第一に考えなさいということです。

当院赴任当時の私にとっては循環器救急治療が最優先と考え、治療に当たっていました。県立中央病院や松山赤十字病院、大学病院の循環器救急が充実し24時間受け入れが可能となると、当院で受け入れるメリットが少なくなってきました。さらに医師不足、看護師不足もあり、急性心筋梗塞などの受け入れは減少しました。現在も2次救急指定病院で、多くの救急患者さんを受け入れています。重症の循環器疾患は救命センターに搬送するなど、スタイルは変わってきています。しかし、ここでも常に“For the patient”でその患者さんにとって最も良い治療が選択できるように心がけています。

現在、循環器外来では、高血圧症、心不全、心房細動などの不整脈、脂質異常症、糖尿病など生活習慣病をメインに診療しています。当院では、外来、救急外来、入院、検診、人間ドック、さらに在宅医療と幅広く患者さんを受け入れています。検診、ドックで早期に疾患を発見、外来での治療、コントロール。状態によっては救急対応、入院も可能です。さらに、通院困難な高齢の患者さんに対しては、在宅での訪問診療、最終的には緩和ケア、看取りまで対応しています。どの場面においても“For the patient”でその患者さんにとって何がベストかを常に考えて、治療に当たっていきたくと考えています。

診療支援科紹介

「診療支援科」は診療部(医師)を支援する部署で医師事務作業補助者を配置しています。病院によって呼称は様々ですが当院では「クラーク」と呼ばれています。



今回は、「診療支援科」について私、本多がわかりやすくお答えしたいと思います。

Q 診療支援って？

A 医師が行う業務のうち、事務的な作業をサポートしています。



Q どんな仕事をしているの？

A 証明書や診断書などの書類の作成、外来診療では診察室でお菓子のチェックや診療録(カルテ)、処方箋代行入力など様々な事務作業をしています。

Q 一言お願いします。

A 患者さんからご依頼いただいた証明書や診断書をできるだけ早く・正確に作成し、皆様にお渡しできるよう努めています。診察では医師がスムーズに診療を行えるよう心がけています。



Q 医師のサポートって？

A 医師の業務には診療以外に多くの事務作業があります。そこでクラークが代行することで医師の負担を軽減し、医師が患者さんと多くの時間向き合えるよう安全・安心な医療を確保することに繋がっています。

Q クラークはどこにいますか？

A 主に外来診察室にいます。整形外科、循環器内科、外科の診察室で先生の隣でパソコンを入力している事務員といえばわかりやすいですね。

栄養管理室紹介

「栄養管理室」は患者さんの栄養管理等を行う部署で2名の管理栄養士を配置しています。当院では、それぞれの患者さんに合った個別栄養指導を中心に行っています。従来の糖尿病・高血圧症等の治療食の指導以外に、嚥む力や飲み込む力が落ちてきたり、食欲不振などで栄養状態の低下した患者さんに対する相談にも対応しています。また、人間ドック・特定健診受診者の保健指導も行っており、健診受診後当日の指導も可能です。



高齢化に対応した嚥下食への取り組み

病院管理栄養士2名と委託業者8名と共に入院患者さんの食事提供及び栄養管理を行っています。高齢化に伴い、治療食中心の病院食から個々に対応した嚥下食の必要性を感じています。昨年より従来からのキザミ・ミキサー・トロミ食に加え『やわらか煮』を追加し、ムース食についても見直し中です。

旬の素材を取り入れた献立毎月カード付で行事食を提供

10月 お月見・地方祭・ハロウィン
11月 紅葉狩り
12月 冬至・クリスマス
1月 お正月
2月 節分
3月 雛祭り



気を付けよう!冬の感染症

これからの寒さや乾燥が厳しくなる冬場はウイルスが活発になり感染症が多くみられます。

当院でも、各部署の代表者で構成する「感染防止委員会」で感染防止対策や分析、院内ラウンドを行っています。また、8月には全職員を対象とした講習会を開催し、「標準予防策～感染対策の基本～」をテーマに感染対策の考え方、標準予防策の概要、標準予防策の実践を学びました。



注意したい感染症

インフルエンザ

38度以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛等全身の症状が突然現れます。お子様ではまれに急性脳症を、ご高齢の方や免疫力の低下している方では肺炎を伴う等、重症になる事があります。

ノロウイルス

おう吐、下痢、腹痛などの症状が現れます。おう吐物や糞便が乾燥するとウイルスが空中を浮遊しそれを吸収すると感染することがあります。また、手指や食品などを介して口からも感染しますので、食品はしっかり加熱しましょう。

すぐにできる予防策



手洗い・うがい

帰宅時や調理の前後、食事前などこまめな手洗いを心がけましょう。現実的な目安として、「時計を見て30秒洗いましょう。」また、帰宅直後のうがいも効果的です。口うがい「くちゅくちゅ」うがいを数回行った後、喉うがい、水を口に含み「あ～」と声を出しながら喉の奥が震えるようにうがいをしてください。



免疫力を高める

普段から十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ免疫力を高めておきましょう。また、体温を上げる事も効果的です。シャワーだけで済ませず湯船に入ることを心がけましょう。湯船に10分浸かれば体温は1℃程上がります。



咳エチケット

せきやくしゃみをしている間は飛沫に病原体を含んでいるかもしれません。周りに人がいる際にはマスクを着用しましょう。

正しいマスクのつけ方

1. 鼻と口の両方を確実に覆う。
2. ゴムひもを耳にかける。
3. 隙間がないよう鼻から顎の先まで覆う。(ワイヤーが入っている方が上です。鼻をつまむように調整してください。)



予防接種

インフルエンザ予防にはワクチン接種も効果的です。ワクチンを接種していても感染する可能性はありますが比較的軽く済みます。ワクチンの効果は約半年とされていますが抗体ができて効果が表れるまで3～4週間かかるので、希望される方は早めに済まされるのがいいでしょう。

インフルエンザの予防接種は、10月中旬より実施します。詳しくは内科外来までお問い合わせください。

松末夏祭りに参加して

7月30日、今年も愛媛慈恵会グラウンドで夏祭りが開催され当院からも救護班が参加させて頂きました。

お祭りにはたくさんの方々が参加され盆踊りや屋台など大盛況でした。今後も地域に根ざした医療の提供を努め、愛され親しみやすい病院づくりを進めたいと思います。



裕の心がゆたかになる話



はじめまして
広報委員の佐々木裕(ゆたか)です。
「裕の心がゆたかになる話」
私の日常をご覧頂き、皆様と共に
過ごした日常のように感じて頂け
たら幸いです。

今回のお話(思い出)は、私の趣味である釣りのお話です。

私が小学3年の夏休み、おじいちゃんに連れられ海釣りに行ったのが始まりです。仕掛けはサビキを使い、小さなアジをたくさん釣り、家族に褒められた私は釣りの世界にハマってしまいました。

大人になった最近ではアジ・アオリイカのさらなる大物を狙って佐田岬・宇和島市・愛南町へと足を運びます。今年の春には1.3キロのアオリイカを釣り上げました。アジは十二月〜二月、アオリイカは春・秋が最盛期です。冬の佐田岬では30cm前後のアジが釣れ、春の愛南町では1キロ〜5キロのアオリイカが釣れます。秋には子供のアオリイカがたくさん釣れます。

釣って帰ったアジは、刺身・塩焼き・南蛮漬け等にして食べ、アオリイカは刺身や天婦羅にして食べます。(作るのは母です...)

自分で釣ったのもあり最高においしいです。皆様にも脂ののったアジ、新鮮なイカの味が伝わると思います。が...

では、次回の広報でまたお会いしましょう。



外来診療予定表

診察時間:午前9:00~12:00/午後2:00~5:00(受付時間/午前 12:00まで、午後 5:00まで)

平成29年10月1日 現在

		月	火	水	木	金	土
内科	午前 第一内科	住田 昌亮 (総合)	担当医	羽立 登志美※1 (糖尿)	住田 (総合)	荒木 周平 (消化器)	
	午前 第二内科	川田 浩之 (循環器)	井上 勝次 (循環器)	川田 (循環器)	三好 愛※2 (呼吸器)	川田 (循環器)	住田 (総合)
	午後	廣岡 昌史 (肝臓)	井上※3 (循環器)	住田 (総合)	川田 (循環器)	住田 (総合)	
外科	午前	兵藤 眞	小川 靖	兵藤	兵藤	兵藤	兵藤
	午後	兵藤	兵藤	兵藤	兵藤	兵藤	
整形外科	午前	桑原 公朗	桑原	桑原	桑原	桑原	桑原
	午後		桑原		桑原	桑原	
脳神経外科	午前	安部 智宏	河野	安部	河野	河野	河野
	午後	河野 啓二	安部	河野	安部	安部	

- ※1. 糖尿外来の診察時間は、午前11時15分までとなっております。
- ※2. 診察は(9:30~12:00)になります。
- ※3. 午後2:00~3:00は検査のため、代診となる場合がございます。
- ※4. 桑原医師・兵藤医師の午後の診察は、手術等の為休診になる場合がございます。ご確認のうえご来院ください。

医療法人社団 慈生会 救急指定病院

松山城東病院

診療科目

内科 / 循環器内科 / 外科 / 消化器外科 / 脳神経外科
整形外科 / リウマチ科 / リハビリテーション科 / 麻酔科

人間ドック

A(1日)ドック / B(2日)ドック / 脳ドック / 各種健康診断
生活習慣病予防健診 / 特定健診

受付時間

月~土曜日(日、祝祭日をのぞく)
午前 8:30~12:00 午後 2:00~5:00
(糖尿外来は午前11時15分まで)
※土曜日は午前中のみ受付となります。

交通のご案内

市内より松山重信線(旧国道11号線) 枝松交差点南
伊予鉄バス(松山市駅-川内) 松末住宅前下車
伊予鉄郊外電車(高浜-松山市駅-横河原) 福音寺駅下車 徒歩7分



お問い合わせ
089-943-7717
(受付時間:月曜~金曜 9:00~16:30、土曜 9:00~12:00)

☎790-0915 愛媛県松山市松末二丁目19番36号
ホームページ <http://www.m-joto-hsp.com>